

# 平成27年度 特定非営利活動に係る事業報告書

## 1 事業の成果

### ◆里山保全部門

#### \*管理場所グループ

例年通り、根戸城址を中心に里山と田畑を保全し、次代へ継承する活動をしました。

- ・道路清掃：定例活動日には根戸城址通りの半トンネル及びガソリンスタンドまでを清掃、ゴミを収集処理しました。
- ・根戸城址の管理：落ち葉集め、枯れ枝積み込み、倒木、枯れ木の処理、野外ステージの保守、モアによる下草刈り、など現状保全を心がけました。
- ・ミカン山：剪定、施肥、除草管理を行い、秋には沢山の収穫を得ました。収穫したみかんは、イベントで賞味し、さらに近隣の方へも配りました。みかん以外にも多種類の木々を植込んで育てています。近隣への配慮として、栗、けやきなどの伐採を行ないました。
- ・ハス田：枯れ茎の処理、雑草の処理など厳しい作業を行い、ふれあい通りの歩行者や来観者の方々の目を楽しませることができました。また、来観者にハスの切り花をお持ち帰り頂き、ハス田の管理のための協力金を寄附して頂き、保全活動に活かすことができました。
- ・その他、ひまわりの栽培、イベント、そばの栽培、稲作、暗渠清掃等多岐にわたる活動をしました。

#### \*個別活動グループ

農教室の活動を中心として充実した1年でした。

##### ・里山農教室部会

昨年からはまり好評だった4チーム制を今年も継続しました。その結果、昨年よりさらに効率よく作業ができ、チーム内での団結力も高まりました。

一方で、チームリーダーの仕事から作物担当をはずしたことで、作物へのきめ細かい手ができにくいという欠陥は相変わらず課題として残りました。

今年は農教室から定例活動への人員の誘致活動として、竹箒作り、燻製器でのベーコン作り、刈り払い機講習なども行いました。予想を上回る参加者で、定例活動の参加者も増えました。

農教室の開講は平均月3回、年間29回でした。

##### ・特別コース部会

「土作り」をテーマに12回行なわれました。6月には茨城県笠間市「あしたを拓く有機農園」を見学し土づくりを基本とした病虫害対策などの話を聞くことが出来ました。また、2月には茨城大学の小松崎教授より「コンポスト」の作り方についての講演も受講しました。

##### ・ハーブ部会

圃場を縮小し、管理が行き届くようになりました。ネームプレートを設置し、ハーブガーデンとしても楽しめるようになりました。また、イベントに参加し、ハーブソルト、フローラルウォーター、リース、サシェなど、多数販売しました。

##### ・竹教室部会

第1期生の二年目、作品作りに励み3月を以って卒業しました。

##### ・養蜂部会

年度当初は営巣の繁盛をみましたが、病気等で減少してしまいました。蜂蜜、蜜蝋製品等を製作し、会員に販売、多くの方々に購入していただきました。柏市民活動フェアにおいては熱心な説明で多くの方々に興味を持っていただきました。部員も増え、部員にも巣箱の設置を勧めました。蜜源植物の栽培を行い、城址にも沢山の巣箱を準備しました。

##### ・野菜ソムリエ部会

ジュニアソムリエ資格者が1名増え、有資格者が5名になりました。調理師の大狭さんの指導により10回の料理教室を実施しました。我孫子市消費生活展に参加し、好評を博しました。

## ◆遊休農地活用部門

### \*遊休農地対応グループ

船戸圃場と三角田圃に新たに宮前沼圃場が加わり、3圃場で以下の活動を行いました。

#### 1. 船戸圃場

- ・5月にひまわりを播種し、7月に公開イベント「ひまわり迷路とクイズに挑戦！」を4日間開催しました。初日は曇りでしたが二日目以降は快晴でテント内受付では気温が39℃の猛暑もありましたが、熱中症など病人や怪我人が出ず無事終了しました。
- ・受付では「手賀沼花火大会募金活動」も行い11,905円集まりました。
- ・満開となったひまわり迷路とクイズが好評で813名（大人503名、子供310名）の入場者がありました。また歩道からの写真撮影者が多数いました。
- ・ひまわりはイベント終了後も栽培を継続し、8月に種取りを行い乾燥させた種188kgを今年1月に搾油して48kgの油が採れて、100cc瓶304本、500cc瓶43本得ました。
- ・ひまわり油瓶は、ひまわり栽培・種取り・菜の花栽培・コスモス栽培、およびイベントに携わった会員の方々に作業時間数に応じた本数を進呈（100cc瓶）、残りは会員に販売し好評で完売できました。
- ・10月には菜の花を播種し、3月に公開イベント「菜の花畑散策と頭の体操」を4日間開催しました。事業計画でのイベントは4月の予定でしたが、暖冬で菜の花の成長が早いため3月に実施しました。
- ・イベントには1,446名（大人1,118名、子供328名）の入場者があり、なぞなぞ問題で頭の体操をしながら、満開の菜の花畑の小路散策を楽しんでいただきました。

#### 2. 三角田圃

- ・4月から排水工事、暗渠作成、除草と耕耘を行ない、6月にコスモスを播種しました。
- ・その後、間引き、除草を繰り返し、9月には色とりどりの花が開花しました。
- ・11月には菜の花とキカラシを播種しました。
- ・その後の多雨によって、圃場が水浸しとなり、半数以上が立ち枯れとなってしまいました。
- ・キカラシを追い播きしましたが、あまり成長しませんでした。
- ・三角田圃は特に排水が悪く、排水対策が今後の課題です。
- ・船戸圃場と三角田圃の景観作物栽培は我孫子市の「手賀沼沿い農地活用補助金制度」の申請を行い実施しました。

#### 3. 宮前沼圃場

- ・今年11月以降に利用権設定手続きをする予定の圃場で、それまでは地主さんの要請を受けて作業のお手伝いしました。
- ・1月に暗渠用竹運搬と竹割りおよびプラウ耕、2月と3月にパワーシャベルで溝を掘り、割った竹を束ねて溝に入れ埋め戻しをした暗渠を6本設置およびロータリ耕耘を行いました。

#### 4. 遊農チーム

- ・新たに遊休農地活用チーム「遊農チーム」を結成し、作業時間に応じた現物支給の制度を創設しました。会員内外に呼びかけたところ、50名以上の申し込みがありました。
- ・1月から、刈払機、ハンマーナイフモア、管理機、トラクターの農業機械講習会を開きました。
- ・宮前沼圃場、船戸圃場での作業もおこないました。

### \*新規就農者支援グループ

- ・新規就農希望者2名を農政課や県農業事務所の担当者に紹介し、支援しました。

## ◆事務局部門

### \* 交流事業グループ

当グループは、会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催するとともに情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。

- ・ 5月の田植えと早苗饗では81名の人たちが参加しました。早苗饗ではトン汁、お赤飯、お漬物などが振る舞われました。天気が悪く、例年よりも参加者は少なくなりました。
- ・ 7月～8月にかけては「かかし祭り」が行われました。6年目となる今年は16体のかかしが並び、コンテストでは熱戦が繰り広げられました。
- ・ 11月のそば祭りは、118名の参加者で過去最高に迫る勢いでした。今年は山遊亭金太郎師匠の落語とココリナグループの演奏も根戸城址で行われ、充実したそば祭りとなりました。
- ・ 12月の餅つき大会も例年通り100名程が参加し、賑やかに1年の活動の締めを飾りました。
- ・ トラストサロンとしては、2月に小松崎将一先生（本会顧問・茨城大教授）による『健康な土づくりを目指して（2）』の講演会が行われ、大勢の皆さんが参加して活発な意見交換の場となりました。
- ・ 他団体との連携では、5月に柏市の市民活動フェスタ、9月に我孫子市民活動メッセ、2月に我孫子市消費生活展に出展し、ミツバチの巣箱の展示、ハーブ部会の展示、野菜ソムリエ部会の活動紹介など、当会の活動のPRを行いました。

### \* 事務局グループ

会議運営・記録、会報発行、会計業務（年度予算、月次決算、現金出納業務等）、機械管理等の基礎業務をこなすとともに、以下の業務に取り組みました。

- ・ 「遊農チーム」の創設、現物支給制の拡大（定例活動への現物支給制の適用）など、増え続ける遊休農地を担うマンパワー増強策の策定。
- ・ メディアへの積極的な情報発信。
- ・ 地域諸団体との積極的な交流。柏市民フェスタ、我孫子市民活動メッセ、消費生活展への参加。
- ・ 地権者との利用権設定の推進（1件。980㎡）。
- ・ 市の「手賀沼沿い農用地等活用事業補助金」の申請及び補助金の受領。市農政課との緊密な連絡、交流。
- ・ 活動中の安全管理、リスク管理の徹底。JAの「特定農機具障害保険」への加入。

## ◆総括報告

平成27年度は、遊休農地への対応について、遊農チームチームの結成など、一歩前に進めることができた年でした。

- ・ 前年度総会以後24名の退会者（正会員）がありましたが、新たに正会員23名が加入し、その結果、正会員154名（前年度155名）、顧問3名、賛助会員1名、協力会員（地権者）11名、協力会員（我孫子市民）38名、あわせて207名の会員となりました。
- ・ メディアからの注目度も高まり、トラストの活動が新聞（朝日新聞・読売新聞、東京新聞）にたくさん取り上げられ、大きな反響を呼びました。
- ・ 「緑の愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けることになりました。長年にわたるトラストの努力が評価されたものです。
- ・ 安全面では、あらたにJAの「特定農機具障害保険」に加入しました。また、昨年度の安全管理方針を徹底した結果、大きな事故や怪我もありませんでした。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数		
里山保全部門	管理場所グループ	根戸城址部会（定例活動）					
		・根戸城址通り清掃	毎月第1、3日曜日	根戸城址通り	4名	会員（20名）	
		・樹林地管理		根戸城址			
		花ハス部会	定例活動日、随時	ハス田	2名	会員（20名）	
		ミカン山部会	定例活動日、随時	ミカン山	2名	会員（20名）	
		冬水田圃部会	4月～10月	根戸新田	14名	会員・一般（100名）	
		ソバ栽培部会	8月～11月	根戸新田	14名	会員・一般（60名）	
	個別活動グループ	養蜂部会	定例活動日、随時	根戸新田	2名	会員（20名）	
		竹教室	毎月第4木曜日	根戸新田	2名	会員（5名）	
		里山農教室部会	通年	根戸新田	14名	会員（80名）	
遊休農地活用部門	遊休農地対応グループ	・ひまわり栽培	5月～7月	根戸新田	4名	会員・一般（88名）	
		・ひまわりイベント （迷路とクイズに挑戦）	7月23～26日	根戸新田	4名	会員・一般（813名）	
		・ひまわり種採取	8月23～25日	日暮会場	4名	会員（29名）	
		・菜の花栽培	10月～3月	根戸新田	4名	会員（95名）	
		・菜の花イベント （菜の花畑散策と頭の体操）	3月19～22日	根戸新田	4名	会員・一般（1,446名）	
		・コスモス栽培	6月～9月	三角田圃	4名	会員（70名）	
		・菜の花栽培	10月～3月	三角田圃	4名	会員（33名）	
	新規就農者支援グループ	新規就農者支援	4月～3月	根戸新田	2名	会員（2名）	
	事務局部門	交流グループ	田植え・早苗饗	5月16日	根戸新田	14名	会員・一般（81名）
			柏市市民活動フェスタ	5月10日	柏駅デッキ	5名	会員・不特定多数
		かかし祭り（制作）	7月25日	日暮会場	10名	会員・一般（55名）	
		かかし祭り（コンテスト）	8月22日	根戸新田	15名	会員・一般（83名）	
		我孫子市民活動メッセ	9月26日、27日	けやきプラザ	4名	会員・一般（多数）	
		そば祭り	11月21日	日暮会場	30名	会員・一般（118名）	
		餅つき大会	12月19日	日暮会場	15名	会員・一般（100名）	
		トラストサロン（講演会）	2月13日	けやきプラザ	5名	会員（43名）	
		消費生活展	2月6日、7日	市民プラザ	3名	会員・一般（685名）	
事務局グループ		安全管理委員会	4月27日	けやきプラザ	2名	会員（10名）	
		定例理事会（10回開催）	毎月、最終日曜日	けやきプラザ	2名	会員（10名）	
		通常総会	6月1日	けやきプラザ	5名	会員（47名）	
		会報編集・校正・発送	毎月1日発行	会員自宅ほか	3名	会員・一般（200名）	
		ホームページ運用・管理	通年	会員自宅ほか	3名	会員・不特定多数	